

*** この報告書で使用されているトランスクリプト記号 ***

・以下は、本実習報告書で使われているトランスクリプト記号の凡例である

? 語尾の音が上がって区切りがついたことを示す

< 急いで発話が始まっている状態を示す

下線 比較的大きな音、または強調されている部分

:: (コロンの列) 直前の音が延ばされていることを示す

gh 喉音

ha,hah,heh,huh など 笑いなど

[2人以上の参加者の発話の重なりが始まる個所を記す。

= 言葉と言葉、または発話と発話が途切れなくつながっている個所を示す

(数字) その数字の秒数だけ沈黙があることを示す

(.) 非常に短い間合い

(()) そのつど必要な注記であることを示す

() 何か言葉が話されているが、はっきり聞き取れないことを示す

徳島大学総合科学部社会学研究室報告 既刊（国立国会図書館等所蔵）

- | | | |
|----|---|------------|
| 1 | エスノメソドロジーとその周辺
ー平成9年度徳島大学総合科学部榎田ゼミナール ゼミ論集ー | 1998年3月発行 |
| 2 | ラジオスタジオの相互行為分析
ー平成9年度徳島大学総合科学部社会調査実習報告書(第二版)ー | 1998年10月発行 |
| 3 | エスノメソドロジーと福祉・医療・性
ー平成10年度徳島大学総合科学部榎田ゼミナール ゼミ論集ー | 1999年2月発行 |
| 4 | 障害者スポーツにおける相互行為分析
ー平成11年度徳島大学総合科学部社会調査実習報告書(第一版)ー | 2000年2月発行 |
| 5 | 日常生活の諸相
ー平成11年度徳島大学総合科学部榎田ゼミナール ゼミ論集ー | 2000年2月発行 |
| 6 | 現代社会の探究
ー平成12年度徳島大学総合科学部榎田ゼミナール ゼミ論集ー | 2001年2月発行 |
| 7 | インタビューと対話の相互行為分析ー気配りと配慮の社会学ー
平成14年度徳島大学総合科学部社会調査実習報告書(第一版) | 2003年2月発行 |
| 8 | インタビューと対話の相互行為分析ー気配りと配慮の社会学ー
平成14年度徳島大学総合科学部社会調査実習報告書(第二版) | 2003年9月発行 |
| 9 | 社会学の窓ードラマティックな日常生活ー
ー平成15年度徳島大学総合科学部榎田ゼミナール ゼミ論集ー | 2004年2月発行 |
| 10 | 義肢・装具のエスノメソドロジー
ー平成16年度徳島大学総合科学部地域調査実習報告書ー | 2005年2月発行 |
| 11 | 生活の中の相互行為
ー平成17年度徳島大学総合科学部榎田ゼミナール ゼミ論集ー | 2006年2月発行 |

鍼灸のエスノメソドロジー

(平成18年度 地域調査実習報告書&大学院人間・自然環境研究科地域社会論Ⅲ・社会組織論レポート集)

発行日 2007年2月21日

編集 榎田美雄

〒770-8502 徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地

(088) 656-9308 E-mail:kashida@ias.tokushima-u.ac.jp

<http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/social/index.html>

発行 徳島大学総合科学部社会学研究室
